

中川清次郎 （中川清次郎） 外交史家。慶應一任常陸國土浦生れ、昭和十八年一月歿（二八六一―一九四三）。號落花居士。土浦藩代官中川忠誠の子、林鷗深門下の父に就き漢學を修めた。明治十九年初の新體詩手引書を自ら刊行し、『新體詩學必携』を著す。神田共立學校卒業後、横濱で外人の詩學を學び、英・蘭・佛・獨・露の各國語に通じた。井上七吉の和英英和辭典の編纂に當る。東京地方裁判所、日本銀行勤務の傍ら田口卯吉の遺稿の整理と史論を發表、外交經濟評論家として知られた。

著書に『西力東漸史』(各極東に於ける外交及通商) (明治二十一年七月十一日春陽堂)、『西力東漸本末』(昭和十八年十一月十日大東出版社「大東選書」) 等。

